

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の指導目標 小単元のねらい	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態
朝のリレー	2	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。（知・技(1)ア） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 （(1)ア） →声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
言葉に出会うために	3	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。（知・技(1)ア） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） →聞き手を意識して声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の大きさや高さを工夫している。 →情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。		粘り強く二つの文章を読み比べながら、場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
はじまりの風	4	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。（知・技(2)イ） ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。（(2)イ）	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ） →場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。

季節のしおり 春		季節のしおり 春 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ →作品中の「春」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
情報を聞き取り、要点を伝える	1	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ →5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。
音声の仕組みや働き	1	音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア →日本語の音声は母音と子音で構成されることや、アクセント・イントネーションによって意味や調子が変わることなどを理解している。		声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。
話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	4	音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ)	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) →聞き手の反応を見ながら、伝えたいことがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話している。	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。

漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう 1	1	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んで。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
ダイコンは大きな根？	2	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ →本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) →「問い」と「答え」から中心的部分を捉え、筆者の主張を理解している。	文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。
ちょっと立ち止まって	3	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ →筆者の主張と事例との関係を整理している。	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) →序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
情報整理のレッスン	1	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ →情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。	情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	読書や意見交流を通して考えを広げ、学習の見通しをもって自分の考えを発表しようとしている。

情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	4	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) →集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明に必要な情報を取捨選択している。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) →わかりやすく説明するために、まとめ方や順序を工夫している。	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。
指示する語句と接続する語句	1	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。(知・技(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ) →例を基に、指示する語句と接続する語句の種類や働き、使われ方などについて理解している。		今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
空の詩 三編	3	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ) 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
言葉3 さまざまな表現技法	1	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)		比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。

比喩で広がる言葉の世界	2	比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比喩などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
文法への扉 1 言葉のまとまりを考えよう 文法 1 言葉の単位	1	単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の類別について理解している。(1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
語彙を豊かに 心情を表す言葉	1	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)		今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
情報収集の達人になろう コラム 著作権について知ろう	3	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ)	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。

読書を楽しむ	1	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)		読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を広げよう コラム 本との出会い	1	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ)		進んで文章を読み、理解したことに基づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
季節のしおり 夏		・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
大人になれなかった弟たちに……	4	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。

星の花が降るころに	5	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ →場面や描写の結び付きを、図などを用いて整理・比較している。	「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ) →場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
項目を立てて書く 案内文を書く	3	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
読み手の立場に立つ	1	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。
言葉 4 方言と共通語	1	共通語と方言の果たす役割について理解することができる。(知・技(3)ウ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。

聞き上手になろう 質問で話を引き出す	2	音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 (1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 (A(1)エ)	進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。
漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2	1	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 (1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
「言葉」をもつ 鳥、シジュウカラ	5	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
思考のレッスン1 意見と根拠	1	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)		根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。

根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	5	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 (知・技(2)イ) 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表R(1)ウ)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 (B(1)ウ) 「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点	根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
漢字に親しもう3	1	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 (1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
文法への扉2 言葉の関係を考えよう 文法2 文の組み立て	2	単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の類別について理解している。(1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
聴きひたる 大阿蘇	1	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)		進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。

季節のしおり 秋		・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)ウ） ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ）		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
古典の世界 音読を楽しむ い ろは歌	1	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知ることができる。（知・技(3)イ） ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。（知・技(3)ア） ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。（(3)イ） ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。（(3)ア）		古文を積極的に、繰り返し音読し、3年間の学習の見通しをもって、古典の世界に親しもうとしている。
蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」 から	4	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。（知・技(3)ア） ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行うことができる。（思・判・表C(1)オ） ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。（(3)ア）	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。（(3)ア）	進んで古文を音読し、これまでの学習を生かして、描かれている古典の世界を想像しようとしている。
今に生きる言葉 〔書く〕 故事成語 を使って体験文を 書こう	3	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。（知・技(3)ア） ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行うことができる。（思・判・表C(1)オ） ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。（(3)ア）	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っている。（C(1)オ） ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。（B(1)イ）	積極的に漢文を音読し、これまでの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。

「不便」の価値を見つめ直す	4	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。
思考のレッスン2 原因と結果	1	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)		今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
漢字に親しもう4	1	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
[話し合い(進行)] 進め方について考えよう	1	意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。

季節のしおり 冬		事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	4	意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。
研究の現場にようこそ 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実 読書案内 本の世界を広げよう	1	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
少年の日の思い出	7	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ) 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ) 単語の類別について理解している。((1)エ)	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。

文法への扉3 単語の性質を見よう 文法3 単語の分類	2	単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の類別について理解している。((1)エ)	今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	
二十歳になった日	4	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。
構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	5	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
漢字3 漢字の成り立ち	1	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理解しようとしている。

一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	4	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 (知・技(2)イ) 相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点を資料にまとめ、発表しようとしている。
ぼくがここに	2	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。 (思・判・表C(1)オ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ)	積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
国語の力試し	3	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) 音読に必要な文語のきまりを知り、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) 表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ) 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) ・音読に必要な文語のきまりを知り、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)とを整理して明確に書いている。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。
漢字を分解してみよう	2	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ]	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。	点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。	進んで①穂先の向きや筆圧などを確かめ③、学習課題に沿って②点画を書こうとしている④。

漢字の筆使い	2	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ]	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。	毛筆で「天地」を書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。	進んで(①)漢字の筆使いに注意し(③)、学習課題に沿って(②)「天地」を書こうとしている(④)。
楷書に調和する仮名(いろは歌)	2	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)]	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。	小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。	積極的に(①)楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して(③)、学習課題に沿って(②)「いろは歌」を書こうとしている(④)。
文字の大きさと配列(俳句)	2	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)、(1)イ]	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。	決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。	進んで(①)用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え(③)、学習課題に沿って(②)小筆で俳句を書こうとしている(④)。
[コラム]文字の歴史を探る	1	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)]	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。	文字の大まかな歴史を確かめている	積極的に(①)文字の歴史について知ろうとし(③)、学習課題に沿って(②)身近な使用例を調べようとしている(④)。

行書の特徴	2	楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ]	楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解している。	速さを意識して書き比べる活動のなかで、両者の違いを確かめている。	積極的に(①)速く書いたときの文字の特徴を捉え(③)、学習の見通しをもって(②)楷書と行書の違いや行書の筆使いの特徴を見つけようとしている(④)。
行書スイッチを入れよう	1	漢字の行書の特徴を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ]	漢字の行書の点画や筆順の特徴を理解している。	行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の点画や筆使いの特徴を確かめている。	積極的に(①)行書の点画や筆順の特徴を考え(③)、学習課題に沿って(②)速く整えて書くための行書の特徴を押さえようとしている(④)。
点画の変化	3	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ)、(1)イ]	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆で「大木」を書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている	進んで(①)行書の書き方(点画の変化)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「大木」を書くようとしている(④)。
点画の連続	3	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ)、(1)イ]	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆で「日光」を書くなかで、行書の特徴<点画の連続>を確かめている。	進んで(①)行書の書き方(点画の連続)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「日光」を書くようとしている(④)。
[国語]季節のしおり ①	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)・(イ)、(1)イ]	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、これまでの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。

情報収集の達人になろう	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ] 日常生活の中から課題を決め、情報を集めながら自分の考えをまとめることができる。[B(1)ア・イ]	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	情報をノートに記録する活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	進んで①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②集めた情報をノートにまとめようとしている④。
-------------	---	--	---------------------------------	--	---

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見えないだけ	1	●語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ		すすんで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
アイスプラネット・漢字に親しもう1	4	●文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 ●第1学年までに学習した常用漢字に加え、単元で学習した常用漢字を読み、文章の中で使うことができる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、単元で学習した常用漢字を読み、文や文章の中で使っている(1)ウ	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。C(1)ア	登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
意見を聞き、整理して検討する	1	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	根拠と意見、具体と抽象など情報を情報との関係について理解している。(2)ア	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら。A(1)ア	進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。
単語をどう分ける？	2	●単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ)		学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

魅力的な提案をしよう	5	●自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 ●資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。		「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ) 「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
枕草子	3	●作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にすることができる。 ●表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
点画の省略 行書「初志」 筆順の変化 行書「深緑」	4	●点画の省略を理解して書くことができる。 ●筆順の変化を理解して書くことができる。	点画の省略や筆順の変化を理解して書いている。	点画の省略の書き方や筆順の変化の仕方を確かめ、自己の課題を考えている。	点画の省略の書き方や筆順の変化の仕方について課題意識をもって取り組んでいる。
クマゼミ増加の原因を探る	4	●文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 ●文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア) 「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ)	積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

思考の視覚化	1	●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)		積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。
情報を整理して伝えよう	5	●目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
熟語の構成 漢字に親しもう2	1	●第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
短歌に親しむ 短歌の創作教室 短歌を味わう	5	●観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。 ●短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)	「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) 「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ)	表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

言葉の力	2	●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
類義語・対義語・多義語語彙を豊かに	2	●抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。
メディアの特徴を生かしてJ東宝を集めよう デジタル市民として生きる	2	●目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)	「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ)	複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。
読書を楽しむ	1	●本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)		本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

翻訳作品を読み比べよう	1	●観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
行書と仮名の調和	4	●点画の連続と配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の調和について確かめながら書いている。		行書と仮名の調和について、自己の課題を考えている。
ヒューマノイド	4	●登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ)	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
字のない葉書	3	●観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 (思・判・表C(1)エ)	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)	文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

表現を工夫して書こう	3	●根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ)	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。
表現の効果を考える	1	●読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。		「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	進んで文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
敬語	1	●敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ)		今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。
聞き上手になろう	1	●論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

同じ訓・同じ音を持つ漢字 漢字に親しもう3	1	●同訓異字や同音異義語を理解し、読んだり書いたりできる。 ●第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)		積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。
モアイは語る	5	●文章の構成や論理の展開について考えることができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(C(1)エ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
根拠の吟味	1	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)		今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
適切な根拠を選んで書こう	5	●伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 ●根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書くようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

月夜の浜辺	1	●抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
平家物語 「平家物語」の世界	1	●作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ●現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)		進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
扇の的	3	●登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
仁和寺にある法師	3	●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)	積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

書き初め	5	●文字の大きさや字間, 行の中心などを理解して, 配列よく書くことができる。 ※(行書の特徴や配列を理解して書くことができる。)	楷書と仮名の筆使いや字形, 文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 ※(行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。)		自己の課題をもって取り組んでいる。
漢詩の風景	3	●観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)	「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)	進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	5	●観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)イ)	進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
具体と抽象	1	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)		学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

話し合いの流れを整理しよう	1	●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)	話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。
走る。走らない。走ろうよ。	2	●単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ)		今までの学習を生かして、積極的に用言の活用について理解しようとしている。
立場を尊重して話し合おう	4	●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)	】進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
漢字に親しもう4	1	●第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

「自分らしさ」を認め合う社会へ	1	●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。
走れメロス 漢字に親しもう5	8	●登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ●根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をjえて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ●第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をjえて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
一字違いで大違い	2	●単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。((1)オ)		今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
描写を工夫して書こう	5	●表現の効果をjえて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ●表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)	「書くこと」において、表現の効果をjえて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

話し言葉と書き言葉	2	●話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ)		今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
送り仮名	2	●送り仮名の必要性を理解し、正しく使うことができる。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
国語の学びを振り返ろう	4	●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 ●表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。
鍵	2	●詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)	「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

国語の力試し	3	●文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 ●観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。 ●論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ●根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ●読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。((1)エ) 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ)	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の指導目標 小単元のねらい	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
握手	4	描写に即して、登場人物の人物像を読み取る。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	粘り強く、文章の展開を捉えたり言葉の意味を文脈から理解したりするとともに、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
春に	3	「ぼく」の「気もち」がどのような言葉で描かれているかを理解し、語感を磨く。 詩に描かれた物事の構成や展開に注意し、作品を批評する。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ]	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。[C(1)ウ]	すすんで表現の仕方について読み、学習課題にそって評価しようとしている。
作られた「物語」を超えて	3	論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。

「走って」いるのは誰？	2	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 (2年(1)オ)		【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。
漢詩	4	①詩の形式や表現の工夫などを理解して、漢詩を音読し、暗唱する。 ②漢詩を読んで情景の描写を捉え、心情を理解する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。[(3)ア]	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。[C(1)ウ]	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
思考のレッスン	1	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。			具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組もうとしている。
グラフを基に小論文を書く	4	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。

挨拶 ——原爆の写真によ せて	2	詩を読み、批評したり、考 えたことなどを伝え合っ たりする。	理解したり表現したりするた めに必要な語句の量を増し、語感を磨 き語彙を豊かにしている。(1) イ)	①「読むこと」において、詩の構 成や表現のしかたについて評価し ている。(C(1)ウ) ②「読むこと」において、詩を読 んで考えを広げたり深めたりし て、人間、社会、自然などにつ いて、自分の意見をもっている。 (C(1)エ)	詩の構成や表現のしかたを積極 的に評価し、学習課題に沿って読み 深めた詩について、感じたことや 考えたことを伝え合おうとしてい る。
点画の変化と連続 「創造」 (書写)	2	①点画の変化と連続を理解 して書くことができる。 ②次の文字への筆脈を理解 して書くことができる。	①点画の変化と連続、次の文字へ の筆脈を理解している。 ②点画の変化と連続、次の文字へ の筆脈を理解して書いている。		点画の変化と連続、次の文字への 筆脈について、課題意識をもって 取り組んでいる。
行書と仮名の調和 「美しい自然」	2	①点画の連続を理解して書 くことができる。 ②配列を理解して書くこと ができる。	①点画の連続や配列の書き方を理 解している。 ②点画の連続や配列の書き方を理 解して書いている。		点画の連続や配列の書き方に興 味・関心をもって取り組んでい る。
俳句の可能性	4	①俳句を読み、批評した り、考えたことなどを伝え 合ったりする。 ②俳句を創作するなど、感 じたことや想像したことを 書く。	理解したり表現したりするた めに必要な語句の量を増し、話や文章 の中で使うとともに、和語、漢 語、外来語などを使い分けること を通して、語感を磨き語彙を豊か にしている。(1)イ)	「読むこと」において、俳句の構 成や表現のしかたについて評価し ている。(C(1)ウ)	進んで表現のしかたなどを評価 し、学習課題に沿って鑑賞文を書 いたり俳句を創作したりしようと している。

「私の一冊」を探しに いこう 羊と鋼の森	1	小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 (C(1)エ)	進んで本の探し方について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。
漢字 1 熟語の読み方	1	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ((1)ア)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
初恋	3	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)イ)		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。
故郷	6	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ((3)オ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 (C(1)イ)	文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。

論理の展開を整える	2	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア)	「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ)	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。
慣用句・ことわざ・故事成語	1	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。
聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	2	提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)	「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)	話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。
書初め	5	文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ※(行書の特徴や配列を理解して書くことができる。)	楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 ※(行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。)		自己の課題をもって取り組んでいる。

和語・漢語・外来語	1	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。
自己PRカードを書く	3	①読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ②読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア ②文字の中心や大きさに気を付け、楷書で丁寧に書いている。	「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。
和歌の世界	1	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア		進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
君待つと ——万葉・古今・新古今	2	和歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。

夏草 ——「おくのほそ道」から	5	古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表しようとしている。
漢字に親しもう	1	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
温かいスープ	2	随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
律儀な桜	2	随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。
わたしを束ねないで	2	詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
アラスカとの出会い	2	随筆を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。	】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。

世界はうつくしいと	2	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
話し合いを効果的に進めよう	2	互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)	積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。
小論文・作文の書き方	4	①読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ②読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア ②文字の中心や大きさに気を付け、楷書で丁寧に書いている。	「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。
高瀬舟	2	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。